



筆文字提供：紡ぎ筆セラピーとくゆみ 様

茨木市 CSW 活動報告書

2022

令和4年度 茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会



## はじめに

茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会は、毎年テーマを設定して、関係機関や地域の方々と連携を図り、様々な課題を抱えている方の自立に向けた支援や、地域で支え合う仕組みづくりを中心に活動してまいりました。

世界的に「With コロナ」にシフトチェンジされつつある現在、次第に社会も平常に戻る傾向にあります。

しかしながら、日常生活の中で生きづらさを感じておられる方の生活が一変することはなく、地域の方々と共に支え合い見守る取り組みは、どのような状況下にあっても継続することが求められています。

こうした中、今年度のテーマを「愛をつなげる・愛でつながる」として、地域において人と人とが、互いを思いやり慈しむ心をもってつながることを目標に活動してまいりました。

この報告書は、今年度のCSWの取り組みを中心にまとめたもので、特にCSWの日ごろの業務内容や相談内容について、イラストを多く活用し「みんなにわかりやすく」を目標に作成しました。特集ページでは、司法書士、ふーどばんく OSAKA、くらしサポートセンターあすてっぴ茨木の担当者との交流会の様態などを掲載しています。

今後も市内の各地域で、広い視野をもって活発な活動を行う資料としても参考にさせていただけるものにしていきます。

普段より地域において活発に支援活動を行っておられる方や団体、行政機関など多くの方にご覧いただき、CSWの活動や役割をより一層、ご理解いただくことで、今後さらに円滑な連携が図れれば幸いです。

今後ともCSWの活動に対して、温かいご支援とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会  
会長 神野 享士

## 目次

### はじめに

1. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業とは	・・・1
2. CSW とは	・・・2
3. 要援護者に対する個別相談支援業務実績	・・・3
◎個別相談支援の実績と内訳	
◎相談内容と内訳	
◎相談からつながった機関と団体	
4. 茨木市健康福祉セーフティネット	・・・6
5. 【特集】CSW と各関係機関とのつながり	・・・8
6. 茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会	
(1) スキルアップ部会	・・・10
(2) 福祉活動交流会部会	・・・12
(3) 周知部会	・・・13
資料	・・・14

### おわりに

## 1. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業とは

大阪府は、社会福祉法に基づく都道府県地域福祉支援計画として「大阪府地域福祉支援計画」を平成 15 年 3 月に策定し、その中で、地域における見守り・発見、つなぎを行う「地域保健福祉セーフティネット構想」を示しました。その後、府の健康福祉分野の単独施策を整理し、再構築を図るため、平成 16 年 2 月に「大阪府健康福祉アクションプログラム」を策定し、改めて「地域の健康福祉セーフティネット」を重点施策として位置づけ、平成 16 年 7 月に「コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業実施要綱」を制定しました。この事業は、平成 20 年度で廃止となりましたが、茨木市では引き続き高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とするあらゆる方々（要援護者）やその家族への支援を通じて、福祉の向上のための基盤づくりを行い、健康福祉セーフティネット（いきいきネット）の構築を図ることを目的として事業を継続しています。

本市では「茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業実施要綱」に基づき、社会福祉法人やNPO法人などに事業を委託して、平成 18 年 4 月から 2～3 小学校区ごとに計 14 か所に「いきいきネット相談支援センター」を設置し、それぞれに 1 名のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置しています。

CSWは、福祉に関する幅広い知識を持ち、見守りや相談から適切なサービスへのつなぎ、各種サービス利用申請の同行など要援護者への支援を行います。さらに、困難な支援ニーズや複数の機関等との連携が必要な事例に関して、見守りやサービスなどの調整を図るため、課題に応じた関係機関で構成するケース検討会（健康福祉セーフティネット会議）を開催することにより、地区福祉委員や民生委員・児童委員など地域で見守り活動をする方が課題を 1 人で抱え込まないようにするとともに、地域で支えるセーフティネットの体制づくりを行っています。

## 2. CSW とは



こんにちは！ 私たちは 茨木市のCSWです

『CSW』って何??

Community (コミュニティ) は  
「地域」、  
Social Worker (ソーシャルワーカー) は  
「生活する中で困りごとや支障のある方  
及びその家族等の相談にのり、問題解決  
のサポートをする人」という意味です。



私たちCSWは  
身近な地域の相談窓口です



★生活の中の困り事、お悩み、気になる事・・・  
あらゆるご相談について一緒に考えていきます。

★住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、  
会議の中で地域の方々と意見やアイデアを出し合います。  
(茨木市健康福祉セーフティネット会議など)



茨木市内にはCSWが14名配置されています

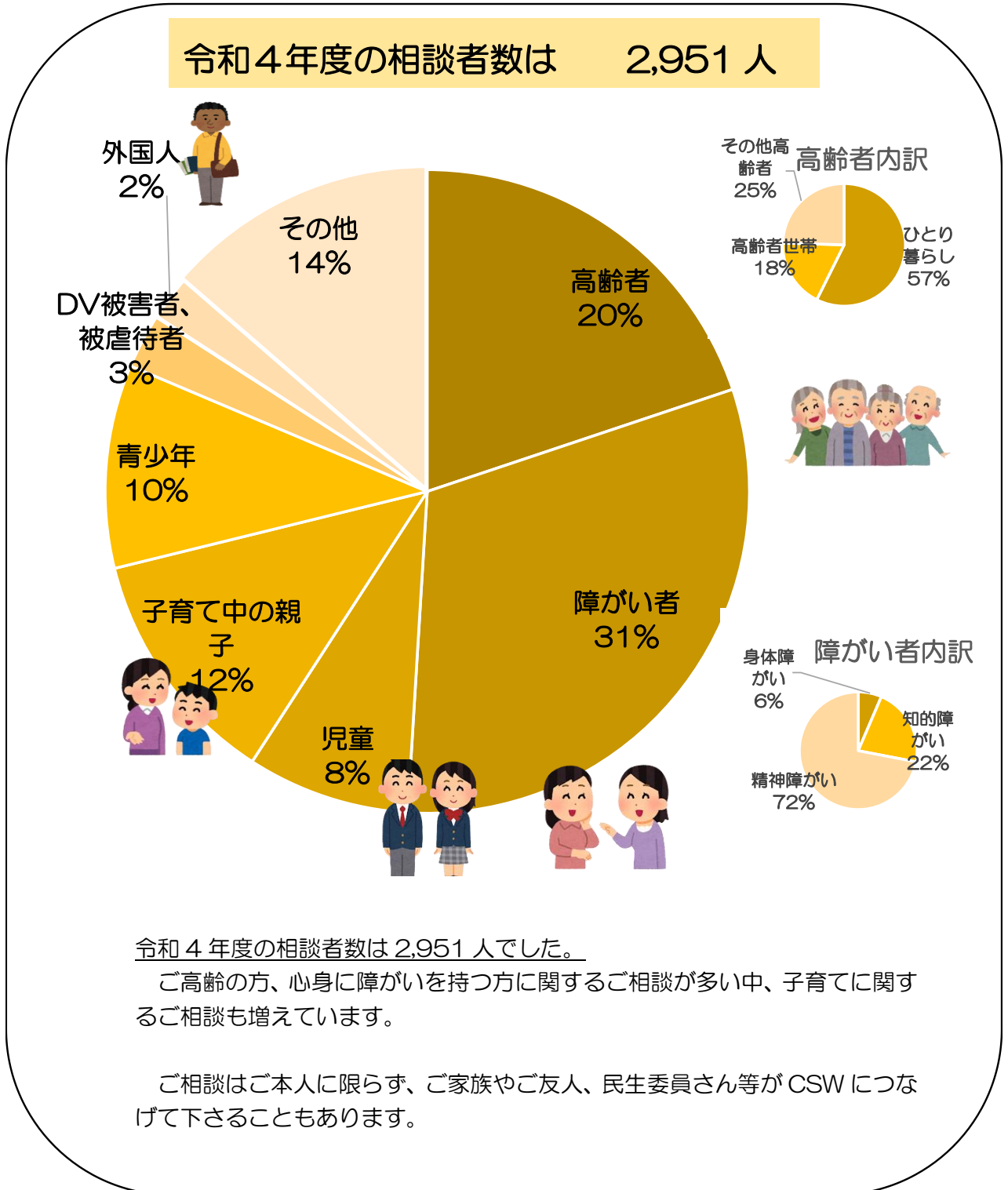
地域が笑顔になる  
温かい信頼関係づくりを目指します



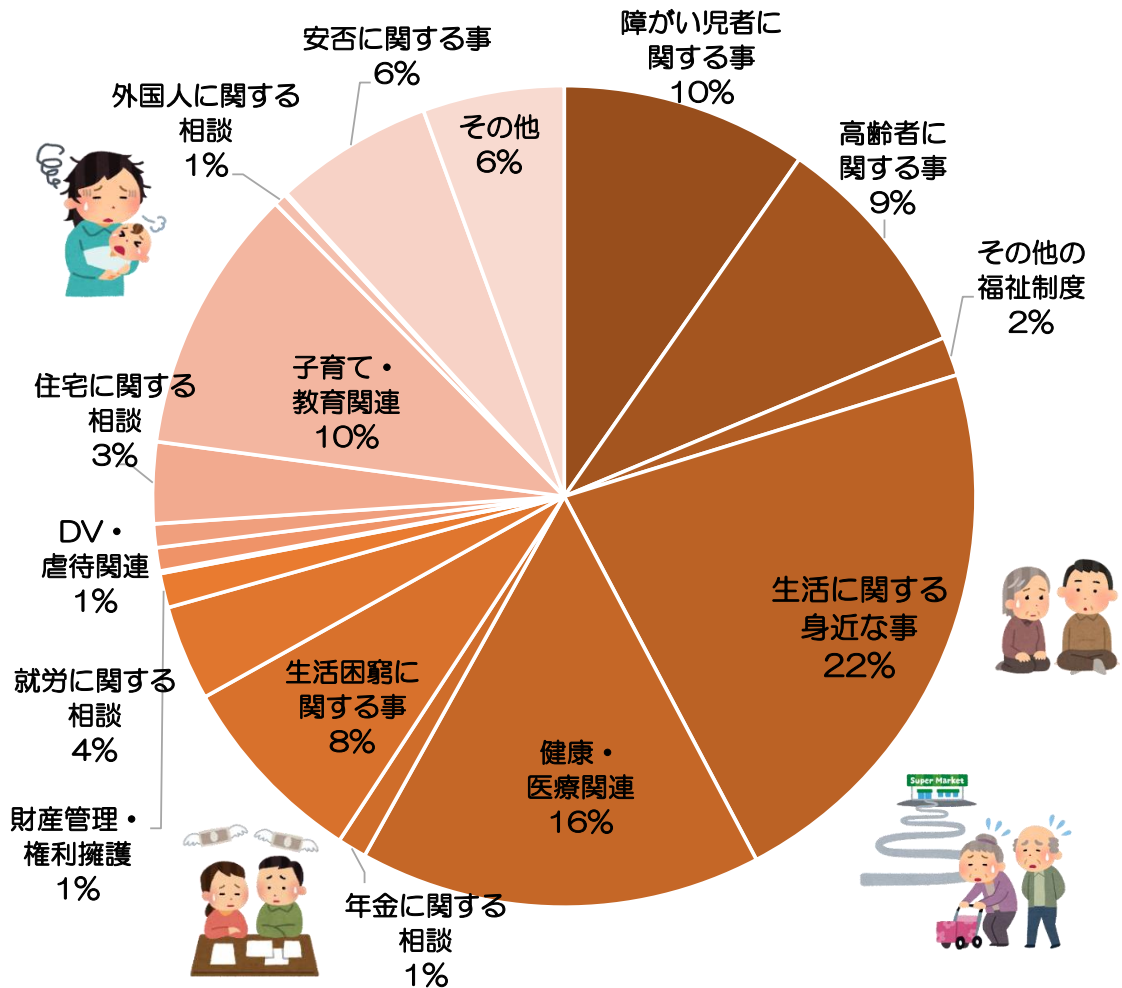
ワッペンが  
目印です

### 3. 要援護者に対する個別相談支援業務実績

#### 個別相談支援の実績



## 相談内容



ご相談の多くは「生活に関する身近な事」

- 「80歳の私。50歳の息子と二人で家にこもっている生活。私と息子、どちらかが倒れてしまったらと思うと不安。」
  - 「障がい年金を受給するにはどうすればいい？」
  - 「保育所がなかなか見つからない！」
- 等々、子どもからご高齢の方まで、年齢を問わず様々なご相談に対応します。



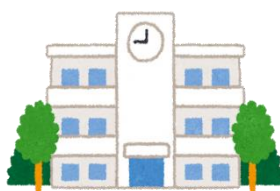
## 令和4年度 相談からつながった機関と団体

CSWはご相談いただいた困りごとを解決するため、その内容に合った機関とつながり、連携します。令和4年度は57の機関とつながり、連携することができました。



市役所

地区保健福祉センター



小学校・中学校



医療機関



幼稚園・保育園



高齢者関係事業所



法律関係



フードバンク

他にも・・・

- ・障害者相談支援事業所・社会福祉協議会
- ・警察・消防・ユースプラザ・地区福祉委員会
- ・民生委員児童委員・主任児童委員 等

CSWはお困り事にじっくり寄り添い、  
いろいろな機関とつながって協力しながら、  
あたたかい支援の輪を広げていきます。



## 4. 茨木市健康福祉セーフティネット

### ●茨木市健康福祉セーフティネット＝いきいきネットとは

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢・障害・ひとり親家庭・困窮などで社会的援護が必要になっても孤立することなく、支え合う地域社会を目指す体制が、茨木市健康福祉セーフティネット＝いきいきネットです。

要援護者の個別支援から見えてくる地域課題を取り上げ、地域の実情に応じた資源の活用・開発へと導くのがCSW（コミュニティソーシャルワーカー）の役割です。

### ●セーフティネットの機能

福祉サービスは「行政による措置」の時代から、「自らが決定し利用するもの」へと変化しました。福祉のニーズも多様化しており、多くの情報やサービスの中から適切な選択をするには、専門的な知識が必要となっています。

#### ① 身近な相談窓口にて、発見・予見のできる体制を作ります。

どこに相談すればいいかわからないまま問題を抱えている人を地域の中で発見し、適切な相談支援やサービス利用へとワンストップでつなぎます。

#### ② 地域での総合的な相談支援の仕組みをつくります。

地域の福祉関係者（民生委員・地区福祉委員など）・行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・CSW など、専門的な技術・価値を持った人や機関が連携し、地域でのネットワークを構築します。

#### ③ 要援護者の声を受け止め継続的な支援を行います。

問題解決後も再発防止・新たな問題の発生に備え、継続的な見守り支援を行い、誰もが安心して暮らせる地域をつくります。



令和4年度、市内全小学校校区の健康福祉セーフティネット会議開催実績は203回でした。

新型コロナウイルスの影響を受け、感染拡大防止の観点から自粛や中止をせざるを得ない時期もありましたが、感染防止対策を講じて開催してまいりました。校区課題について、対象を限定しないで、学び合い・寄り添い・安心して共に暮らせる地域づくりを目指しています。

●健康福祉セーフティネット会議について

健康福祉セーフティネット会議は現在、茨木市内32の全小学校区にて、CSWが事務局となり定期的を開催しています。対象を限定しないで危機介入から日常生活支援まで幅広いケースに対応したり、地域課題について検討したり、専門家を招いて勉強会を開いたり、地域性に応じた内容で進めています。

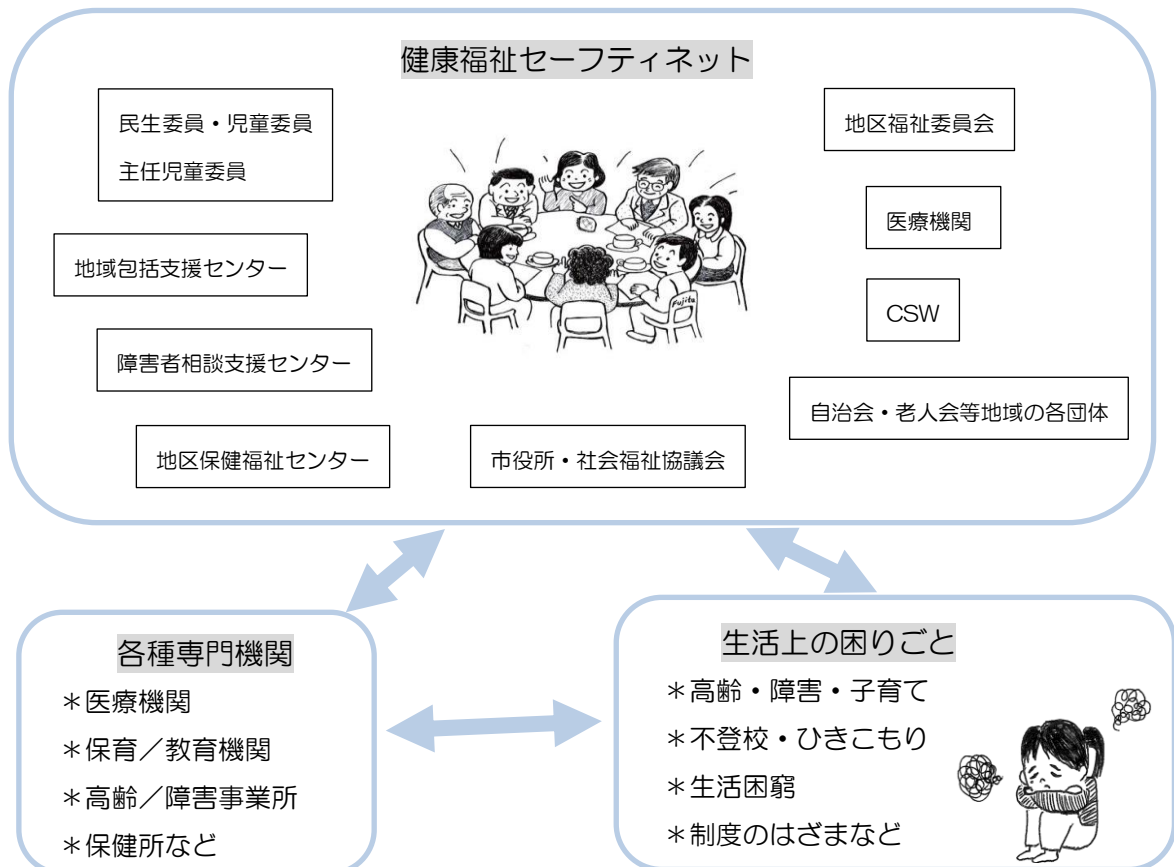
開催頻度（毎月～数ヶ月ごと）や構成メンバー、内容も地域ごとに異なりますが、誰もが安心して暮らせるよう、住民主体で解決すべき問題・共通課題に取り組む過程で、地域力を高めていくことを目的に行っています。

<主な内容>

- \* 地域住民・専門職にて把握しているケースの検討
- \* 地域福祉に関する情報共有・伝達
- \* 勉強会・研修会
- \* 社会資源の活用・創出他、地域福祉に関わること
- \* 地域課題の把握

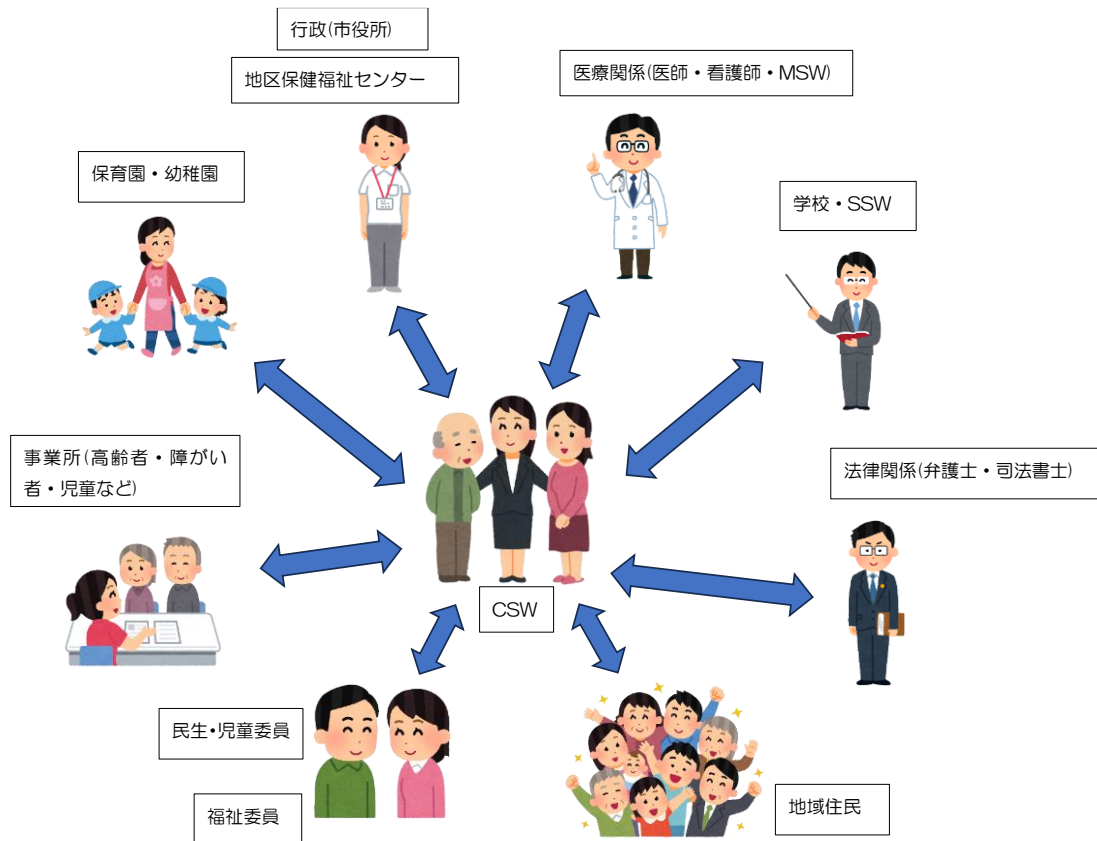


<イメージ図>



## 5. 【特集ページ】CSW と各関係機関とのつながり

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）は、地域行事やセーフティネット会議、様々な相談を通じて各関係機関とつながり、日々連携しています。



こんなところにもCSWが参加しています！！



## 令和4年度に交流会等につながった関係機関

お互いの業務内容や資源についての共通理解を深めるため、関係機関との交流会を開催しました。



### 司法書士会

茨木市に事務所がある司法書士5名の先生と、CSW14名で交流会を開催しました。お互いの活動内容の周知を行い、共通理解を深めることができました。案件について、今後直接相談できるきっかけづくりの交流会となりました。



### ふーどばんく OSAKA

認定NPO法人ふーどばんく OSAKA 事務局長 森本範人様によるフードバンクについての勉強会を実施して頂きました。「困窮者対策ではなく、食でつながり、次の支援のきっかけづくりにする、地域を笑顔にする活動」と学びました。今回の勉強会を通してより深く理解し、今後の支援に活かしていきたいです。



### くらしサポートセンター あすてっぴ茨木

あすてっぴは福祉総合相談課内にある、家計や暮らしの相談窓口です。普段から連携することの多いあすてっぴですが、再確認の意味も込めて「こんなことで貢献できるよ!」「知らないのを教えて!」ということを交流会で意見交換しました。普段の業務内容やお互いの知らないことがたくさんありました。今後もお互いの得意な分野を活かして連携していきたいです。



### 茨木警察

令和4年4月より、各交番より担当地区のCSW事業所に毎月「交番だより」を届けて頂いています。直接地域についてのお話ができる機会があることは、心強く感じます。安心安全に暮らせる地域を目指して連携を続けていきたいと思えます。

## 6. 茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会

### 【スキルアップ部会】

今年度初めて協議会としてスーパービジョン（以下SVと表記）を受けられることとなり、新たに創設されたスキルアップ部会では、実践に必要なかつ専門性が問われる分野の先生方にスーパーバイザーを依頼し、その特性に応じたSVを下記の通り企画・実施しました。多忙な業務の合間をぬって皆で学んだハイレベルの知識や技術は、各CSWの資質及びモチベーションの向上、課題の解決につながっています。



### <主な活動>

- 4月 部会のテーマを「ちがいを認め合う地域社会を創るために必要なスキルを身につける」とし、年間活動計画を立てる。
- 5月 協議会でのアンケートをもとに具体的なSVの内容を検討、今年度は精神医療・地域支援・心理的アプローチに焦点を当てることに。
- 6月 スーパーバイザー依頼及び打合せ・SV開始（～2月まで計13回）
- 9月 自己点検表（前期）の実施及び集計。
- 2月 自己点検表（後期）の実施及び集計・振り返り・次年度に向けての打合せ。

#### 【自己点検表とは…】

幅広い知識や技術が問われる一方、数値化の難しいCSW業務について、意識的に取り組むべき内容を言語化し、定期的に振り返りができるように、茨木市CSW協議会が独自に開発したもの。期待される機能別(※)に全93項目からなり、CSW全体のレベルアップを目的としている。

※対象者への基本的関わり姿勢／個別支援機能／ソーシャルサポート機能／組織化・ネットワーク機能／仕組みづくり機能／自己研鑽

## <スーパーバイザー及びSVの概要>

### 1. 藍野病院 院長 川島 文雄 氏

精神障害や発達障害、パーソナリティ障害のある方、またその疑いのある対象者に関わる際の対応や、精神医療に関する情報について、月1回のSV相談会にて、実際の事例を通して助言をいただく（顔合わせ含め計9回）。



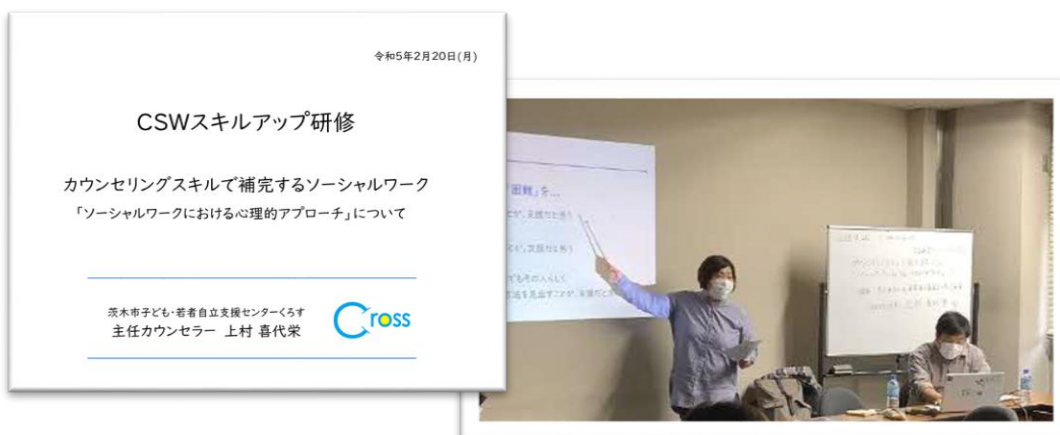
### 2. 追手門学院大学社会学部社会学科 教授 古川 隆司 氏

地域課題の抽出・分析・解決に向けた取り組みについて、具体的な事例をもとにした研修会や課題解決型ワークショップを実施（顔合わせ含め計3回）。エリアごとの個別の助言や、フィールドワークへの参画もしていただく。



### 3. 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす 主任カウンセラー 上村 喜代栄 氏

ひきこもり状態にある方など、対象者の状態改善を目指す心理的アプローチの手法について、ポイントを絞った講義をしていただく（1回）。



## 【福祉活動交流会部会】

日 時：令和4年12月2日(金)14時～16時

場 所：中央圏域 きらめき303号室

北圏域 きらめき304号室

東圏域 きらめき305号室

西圏域① ローズワム401、402号室

西圏域② ローズワム404、405号室

南圏域 ローズワム501、502号室

参加者：158名（講師・CSW含まず）

福祉委員・民生児童委員・主任児童委員・自治会・自主防災会・子ども食堂・  
フードパントリー・大学・小学校・中学校・地域包括支援センター・NPO・  
障害者相談支援センター・ユースプラザ・社会福祉協議会・地区保健福祉セン  
ター・市役所関係課（危機管理課、人権男女共生課、福祉総合相談課）

テーマ：みんなの理想の避難所を考える

～多様な価値観を知ることで災害対策を考えよう～

目 的：高齢・障がい・子育て・LGBTQ・外国籍等の多様な状況や価値観を知り、  
一人ひとりの違いを理解し合いながら災害対策を考えるきっかけをつくる。

内 容：①講義「茨木市における避難所の現状について」

茨木市危機管理課 橋本 匠 氏

②講義「災害時『みんなで助け合う』とは」

追手門学院大学社会学部社会学科 古川隆司 教授

③各会場にてグループワーク

「茨木市CSW版クロスロードゲーム」を実施。理想の避難所づくりのため  
の5つの設問について各グループで考え、話し合いました。

④全会場及び講師をオンラインでつなぎ、発表⇄コメント



オンラインと対面を織り交ぜた「ハイブリッド式」で開催。会場は圏域ごとに分かれていたので顔見知りの方が多く、リラックスした温かい雰囲気オンラインで共有することができました。

人々が多様な価値観・多様な状況を抱える昨今、日頃からお互いに理解し合うことで災害時も自然な助け合いが生まれる・・・そんな避難所づくりを目指し、活発な意見とアイデアが溢れた交流会となりました。参加いただいた皆様から大変ご好評をいただきました。



## 【周知部会】

1. お互いの業務内容や資源についての共通理解を深めるため、身近な関係機関（ふーどばんく大阪、司法書士会、茨木市役所福祉総合相談課「あすてっぴ」）との交流会を開催
2. 前年度から引き続き、チラシの作成
3. 活動報告書の作成

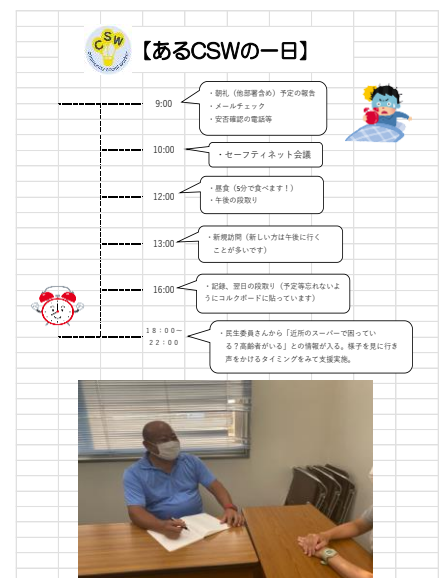
## 【身近な関係機関との交流会】

・令和4年7月1日 CSW協議会にて  
認定NPO法人ふーどばんく OSAKA  
事務局長 森本 範人 様をお招きし、日ごろ連携  
することが多いフードバンクの物品の流れや  
提供側の思い、難しさ等を勉強することができました。

・令和4年10月7日 CSW協議会にて  
茨木市内事業所のある司法書士  
平井 利誉 先生（クローバースタイル法務事務所）  
富本 涼子 先生（富本司法書士事務所）  
中西 笑子 先生（中西司法書士事務所）  
近藤 英則 先生（近藤司法書士・行政書士事務所）  
目良 静香 先生（目良司法書士事務所）

5名の先生をお招きして、交流会を開催しました  
・互いの活動内容を知り、共通理解を深めていく  
・案件について相談できる関係づくりを目的とし、  
ざっくばらんに話し合いができました

・令和5年3月3日 CSW協議会にて  
茨木市役所健康福祉部 福祉総合相談課  
くらしサポートセンターあすてっぴ茨木の相談員4名  
をお招きし「リーダーズインテグレーション」という  
ワークショップを利用して意見交換を行いました。  
お互いの得意・不得意分野がわかり、今後の連携にも生  
かせる研修となりました





## こんなことはありませんか？

あなたや、あなたのお近くにいる方が抱え込んでいる  
困りごと…  
ひとりで抱えるのはしんどくないですか？  
まずは、“話すこと”から始めてみませんか？



断りきれない  
訪問販売

しつこくかかってくる  
勧誘電話



辛く気分が落ち込んだ  
ところから抜け出せない

長く引きこもっていて  
外出できない



とにかく  
困っている…  
でもいいんです



子育てのことに  
悩んでいる

ずっと泣いている  
赤ちゃん



物忘れがひどくなった  
介護保険について知りたい



生活するお金に  
困っている

子育てに無関心な  
お母さん

生活の中でいろいろな悩みごとがあり、どこへ相談に行けば良いのか分からない…  
など不安や困りごとなどお話をうかがい、  
解決にむけて一緒に考えさせていただきます。(相談無料)

茨木市いきいきネット相談支援センター



CSW配置事業は茨木市からの委託事業です

担当小学校区	いきいきネット 相談支援センター	CSW
清溪・忍頂寺・ 山手台	やまゆり苑	清水 まお
安威・福井・耳原	天兆園	福隅 友美
豊川・郡山・彩都西	常清の里	田村 綾
太田・西河原	天兆園	高橋 恵子
三島・庄栄	M-CAN (ミカン)	瀬戸口 絵理佳
東・白川	エルダー	神野 享士
春日・郡・畑田	ビーベル	久保 麻美
沢池・西	春日丘荘	新田 恭子
春日丘・穂積	静華苑	下戸 邦宏
茨木・中条	茨木市社会福祉協議会	新見 裕子
大池・中津	茨木市社会福祉協議会	大嶋 香織
玉櫛・水尾	あしはら	釘嶋 智子
玉島・葦原	はっちぼっち	久貝 美穂
天王・東奈良	南茨木	坪井 照子

令和4年4月現在

CSW : Community Social Worker  
(コミュニティソーシャルワーカー)



担当小学校区	いきいきネット 相談支援センター	CSW
清溪・忍頂寺・ 山手台	やまゆり苑	清水 まお
安威・福井・耳原	天兆園	福隅 友美
豊川・郡山・彩都西	常清の里	田村 綾
太田・西河原	天兆園	高橋 恵子
三島・庄栄	M-CAN (ミカン)	瀬戸口 絵理佳
東・白川	エルダー	神野 享士
春日・郡・畑田	ビーベル	久保 麻美
沢池・西	春日丘荘	新田 恭子
春日丘・穂積	静華苑	下戸 邦宏
茨木・中条	茨木市社会福祉協議会	新見 裕子
大池・中津	茨木市社会福祉協議会	秋吉 真季
玉櫛・水尾	あしはら	釘嶋 智子
玉島・葦原	はっちぽっち	久貝 美穂
天王・東奈良	南茨木	坪井 照子

令和4年7月現在

CSW : Community Social Worker

(コミュニティソーシャルワーカー)



## おわりに

茨木市におけるCSWにつきましては、平成17年（2005年）モデル事業実施、平成18年（2006年）事業開始、平成29年（2017年）全32小学校区にセーフティネット会議の設置完了など、全国に先駆け着実に事業を展開、継続してまいりました。

その間、平成30年（2018年）6月に大阪北部地震が発生したことで、被災者・被災地域に対して、様々な支援等を迅速に行い、CSWが地域の相談員としての能力を遺憾なく発揮してきました。

また、令和2年度（2020年度）より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会機能の制限による収入の減少や失業等による様々な課題における相談が増えたこと、地域においては、外出自粛要請等により地域活動が制限され、外出機会の減少による孤立、地域でのつながりが希薄になるなど、地域課題の複雑化・複合化が進みました。

さらに、今般の物価高騰、超高齢社会、少子化などの社会情勢に加え、8050問題、引きこもり、ゴミ屋敷、ヤングケアラーなど様々な課題があり、分野を問わず個別支援と地域支援を担うCSWの重要性は益々高まっています。

市としては、今後もCSWの活動を推進するとともに、市民や関係機関の皆さまにおかれましては、引き続きCSWの活動にご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

福祉部 福祉総合相談課長 澤田 信一



発行：茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会

編集：令和5年度 周知部会

田村 綾 （いきいきネット相談支援センター常清の里）

坪井 照子 （いきいきネット相談支援センター南茨木）

高橋 恵子 （いきいきネット相談支援センター天兆園）

秋吉 真季（いきいきネット相談支援センター茨木市社会福祉協議会）

吉田 康将（いきいきネット相談支援センター茨木市社会福祉協議会）